

# S I D R

## (滋賀県感染症情報)

SHIGA Infectious Diseases Report

# 〈月報〉

## 平成18年2月

### (第5～8週)

発行年月日：平成18年(2006年) 3月 15日  
 発行 行：滋賀県衛生科学センター内  
 滋賀県感染症情報センター  
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

全国の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といえます。また、届出により全国または滋賀県で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症 類型	疾 病 名	平成 18年				平成 17年		感染症 類型	疾 病 名	平成 18年				平成 17年	
		1月		2月		1～12月				1月		2月		1～12月	
		滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国			滋賀県	全国	滋賀県	全国	滋賀県	全国
一類	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	四類	デング熱	0	2	0	2	1	73
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0		ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0		日本紅斑熱	0	0	0	0	0	62
	痘そう	0	0	0	0	0	0		日本脳炎	0	0	0	0	0	7
	ペスト	0	0	0	0	0	0		ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0		Bウイルス病	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0		ブルセラ症	0	0	0	1	0	2
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0		発しんチフス	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	3	0	2	0	54		ボツリヌス症	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	*1	31	1	30	*2	556		マラリア	0	4	0	0	0	66
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0		野兔病	0	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	4	0	5	0	50		ライム病	0	0	0	0	0	8
	パラチフス	0	0	0	3	0	18		リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	40	0	27	12	3567		レジオネラ症	0	19	0	39	3	276
四類	E型肝炎	0	6	0	5	0	40	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	15	
	ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	1	五類	アメーバ赤痢	1	23	1	56	5	680
	A型肝炎	0	20	0	26	1	168		ウイルス性肝炎	0	15	0	12	2	277
	エキノкокクス症	0	4	0	1	0	18		急性脳炎	1	16	0	24	2	180
	黄熱	0	0	0	0	0	0		クリプトスポリジウム症	0	0	0	1	0	9
	オウム病	0	2	0	2	1	34		クロイツフェルト・ヤコブ病	0	13	0	11	2	147
	回帰熱	0	0	0	0	0	0		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	10	1	12	0	60
	Q熱	0	0	0	0	0	8		後天性免疫不全症候群	1	50	1	94	7	1161
	狂犬病	0	0	0	0	0	0		ジアルジア症	0	7	0	2	0	81
	高病原性鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0	0		髄膜炎菌性髄膜炎	0	1	0	3	0	10
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	5		先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	2
	サル痘	0	0	0	0	0	0		梅毒	0	29	0	42	0	555
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0		破傷風	0	2	0	3	0	114
	炭疽	0	0	0	0	0	0		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	6	0	6	0	325		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	0	4	2	65

### 滋賀県における全数報告 感染症の概要(2月)

#### < 細菌性赤痢 >

男性・64歳

スリランカに旅行し、帰国後に下痢、発熱、腹痛等の症状を示し、検便から赤痢菌(ソネ型)が分離された。

#### < アメーバ赤痢 >

男性・31歳

5～6回/日の血便であったため精査したところ原虫が検出された。推定される感染地域は日本国内であるが推定される感染経路等については不明。

#### < 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 >

女性・45歳

A群溶血性レンサ球菌が分離されたが推定される感染経路等については不明であり、推定される感染地域は日本国内であった。

#### < 後天性免疫不全症候群 >

男性・42歳

臨床診断はAIDS、最近数年間の居住地は日本国内であり、推定される感染地域および推定される感染経路等については不明。

\*1 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分、

\*2 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含む

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります(疾患により定点数は異なります)。また、疾患によりインフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点、基幹定点に分かれています。

### 2月の概要

#### <インフルエンザ定点>

第4週の定点当たり患者数40.45をピークに大部分の保健所管内(八日市保健所管内以外)では1週毎に急減し、第8週の定点当たり患者数は9.67となりました。八日市保健所管内では第5週以降も横ばいまたは微増を示し、第6週をピークに減少傾向となりましたが第8週の定点当たり患者数は19.00と他の保健所管内よりかなり多くなっていました。

#### <小児科定点疾患>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は第5週以降も増加傾向を示し、昨年と同時期よりかなり多くなっていました。特に、水口保健所管内からの報告が増加していました。

感染性胃腸炎は第6週以降増加傾向を示し、第8週には今津保健所管内において急増しました。

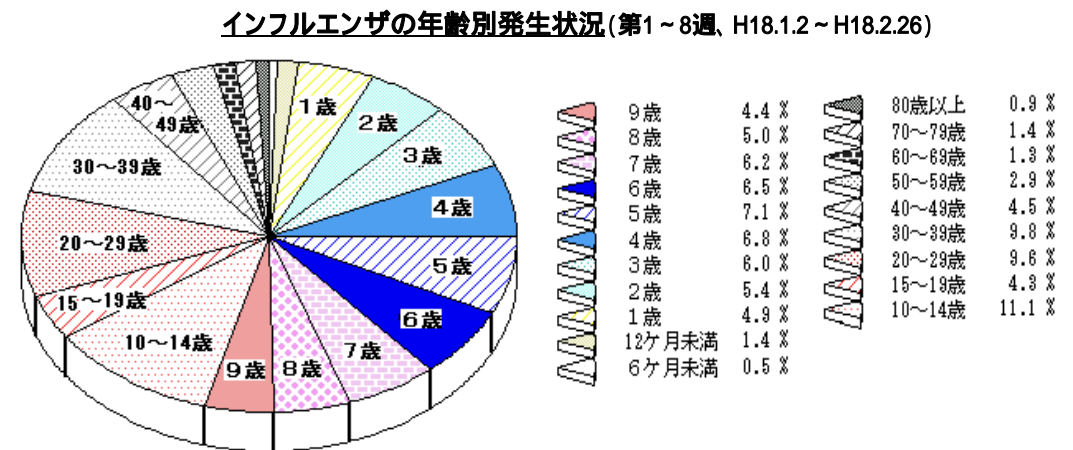
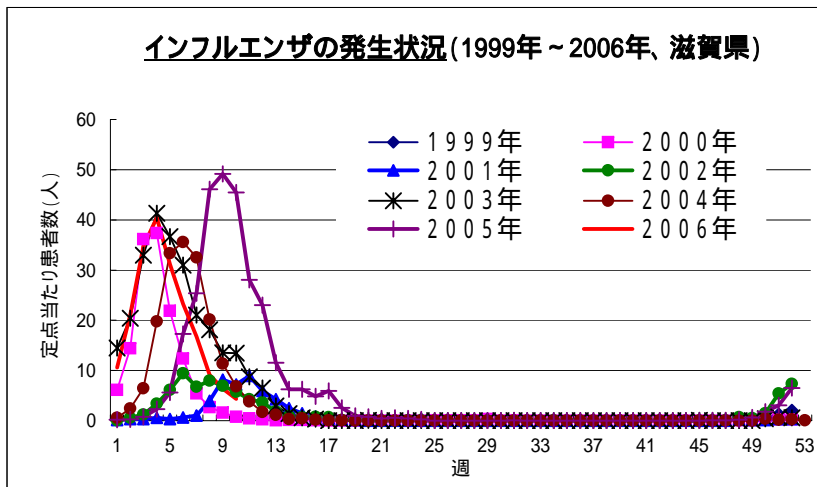
また、第7週には彦根保健所管内から風しん(三日はしか)の報告が、第8週には大津保健所管内から麻しんの報告がありました。

#### <眼科定点疾患> <基幹定点疾患>

例年と同様の発生状況を示し、大きな変化はみられませんでした。

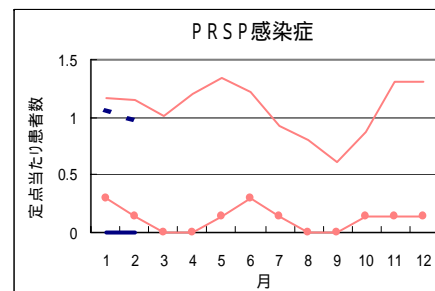
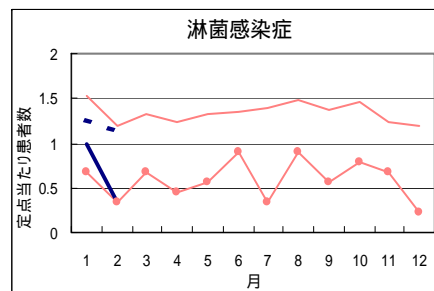
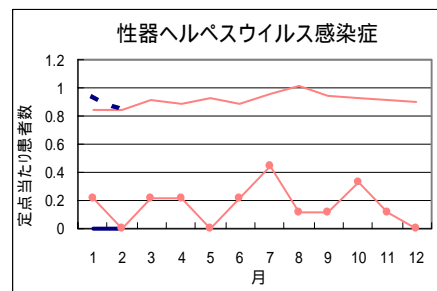
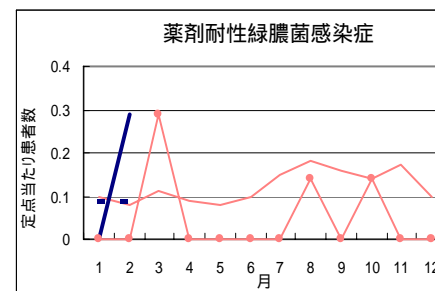
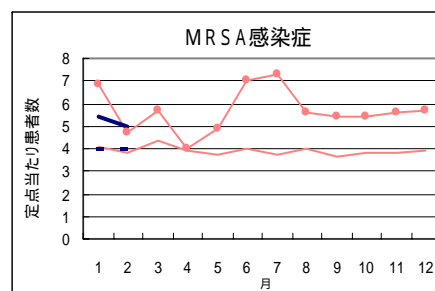
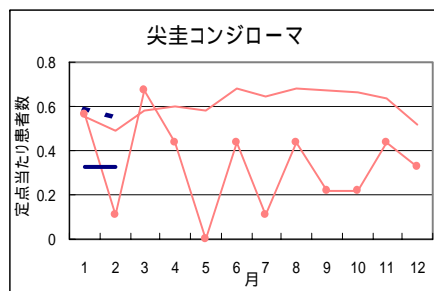
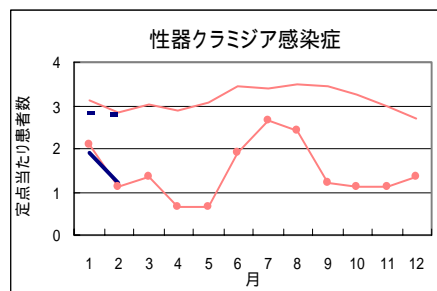
#### <各定点の対象疾患>

定 点	疾 患 名
インフルエンザ定点	インフルエンザ
小児科定点	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑(リンゴ病)、百日咳、突発性発しん、ヘルパンギーナ、風しん(三日はしか)、麻しん、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)
眼科定点	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹定点	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、成人麻しん、クラミジア肺炎(オウム病を除く)



### 3) 性感染症定点および基幹定点における疾病別発生状況(平成18年2月)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
性器クラミジア感染症	罹患数	17	11											28
	定点当たり	1.89	1.22											1.56
性器ヘルペスウイルス感染症	罹患数	0	0											0
	定点当たり	0	0											0
尖圭コンジローマ	罹患数	3	3											6
	定点当たり	0.33	0.33											0.33
淋菌感染症	罹患数	9	3											12
	定点当たり	1	0.33											0.67
MRSA感染症	罹患数	38	35											73
	定点当たり	5.43	5.00											5.22
PRSP感染症	罹患数	0	0											0
	定点当たり	0	0											0
薬剤耐性緑膿菌感染症	罹患数	0	2											2
	定点当たり	0	2.00											1.00



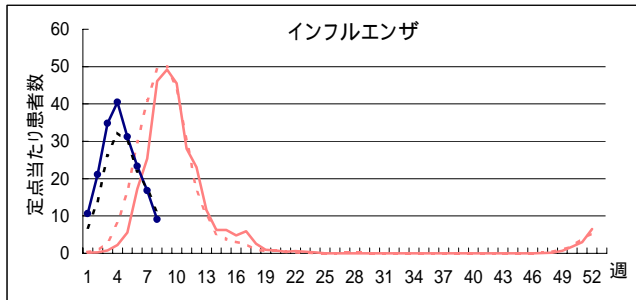
戻る

- H17 { 滋賀 ●●●●●
- { 全国 ○○○○○
- H18 { 滋賀 ●●●●●
- { 全国 ○○○○○

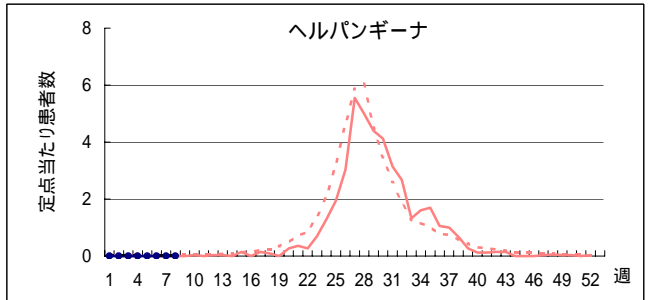
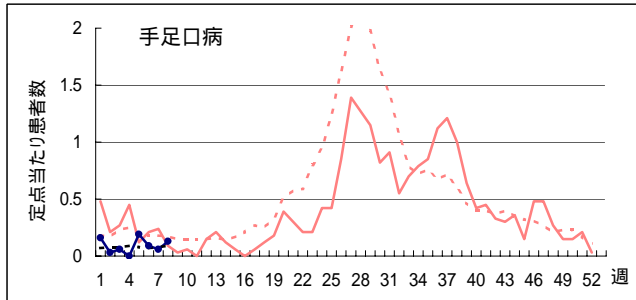
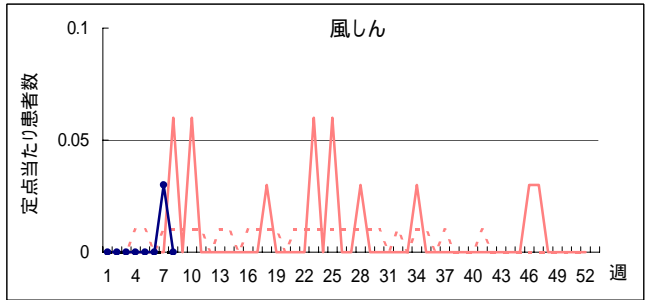
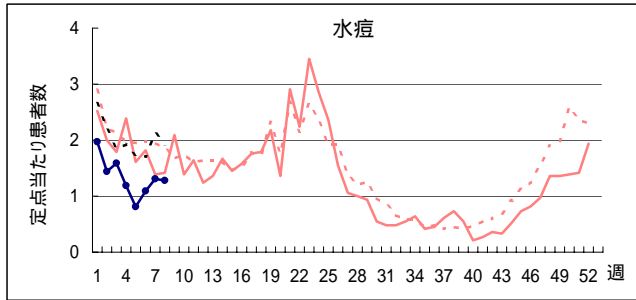
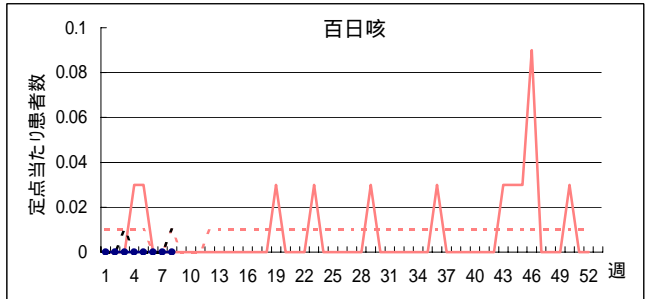
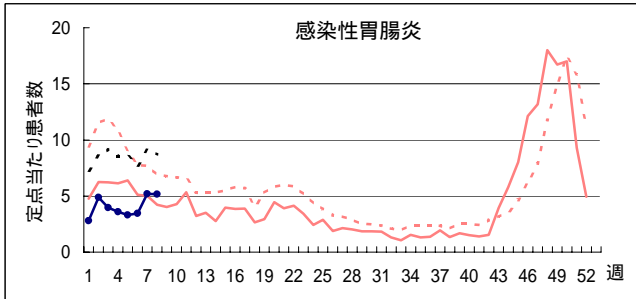
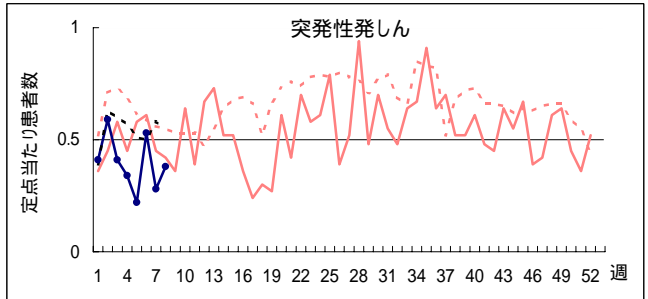
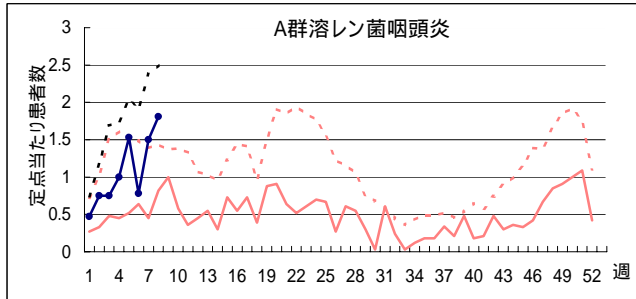
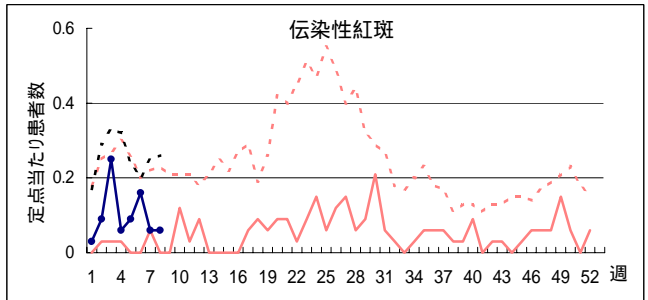
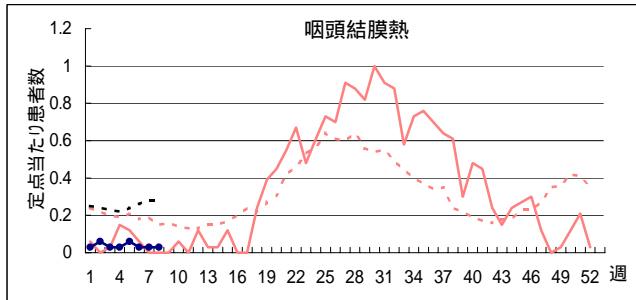
MRSA:メチシリン耐性黄色ブドウ球菌  
PRSP:ペニシリン耐性肺炎球菌



# 疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第8週、H18.1.2～H18.2.26)



H17 〔 滋賀 ————  
 全国 - - - - -  
 H18 〔 滋賀 ●—●—  
 全国 - - - - -



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第8週、H18.1.2～H18.2.26)

H17 { 滋賀 ————  
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●  
全国 .....

